

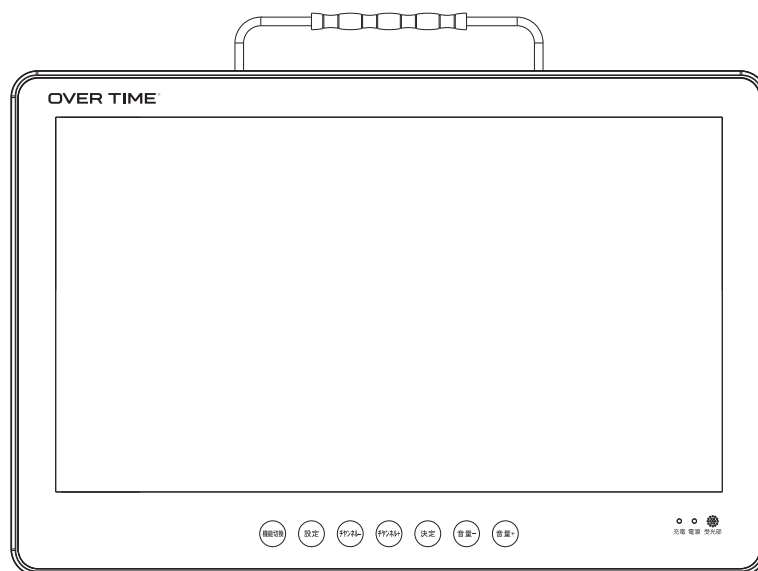
型番：OT-WTD14AK

(家庭用)

この度は本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

14インチ防水 ポータブルDVD+TV

取扱説明書



<必ずお読みください>

電気製品は安全の為に注意事項を守らないと、重大な事故が起きる場合があります。この取扱説明書には、事故を未然に防ぐ為の重要な事項や取扱い方法を明示しております。本書をよくお読みの上、安全にご使用くださいますようお願い申し上げます。

本機の防水クラスはIPX7相当です

※ただし「湿度の高い場所」や「温度差が激しい場所」での保管や長時間の利用は内部で結露等が発生する場合があります。本書内の注意などを遵守の上、正しくご利用ください。誤使用による故障や不具合は、無償保証の対象外です。

※本書はいつでも見られる場所へ大切に保管してください。

目次

はじめに	
安全上の注意	3-6
付属品リスト	7
各部名称（本体／リモコン）	8-9
リモコンについて	10
機器の準備	
設置する	11
電源の接続／状態表示ランプ	12
外部機器の接続／入力ソース切換	13
機器の調整（機器設定メニュー）	14
外部メディアについて	15
再生可能ディスク（DVD/CD）	16-17
機能①-1 地デジテレビ	
B-CAS カードの準備	18
アンテナの準備	19
放送局（CH）の登録	20-21
アンテナ受信レベル	22
基本的な使い方	23-24
電子番組ガイド（EPG）の利用	25
TV モード設定メニュー	26
機能①-2 「録画」の機能や操作	
録画機能について（録画時間の目安）	27
録画用メディアの準備／確認	28
「録画」に関する機能の利用	29-32
機能② DVD/CD プレーヤー	
ディスクの再生	33-35
DVDモード設定ページ	36
主なリモコン操作／機能	37
機能③ メディアプレーヤーソフト	38-39
リモコンの主なボタン操作	40-41
トラブルシューティング	42-44
内蔵充電電池について	45
製品仕様	46
その他（各種注釈や免責など）	47-48
アフターサービス／保証規定	48-49

はじめに

安全上の注意

- ご使用前に当項「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 当項に明示された事項（「警告」「注意」）は安全に関する重大な内容が記載されておりますので必ずお守りください。
- 当項に明示された事項を守らず故障や不具合が発生しても保証は適用されず、当社では一切の責任を負いません。

■表示の説明

表 示	表 示 の 意 味
 警告	“ 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症（*1）を負うことが想定されること ” を示します。
 注意	“ 取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること ” を示します。

（*1） 重症とは失明やケガ、やけど（高温／低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期通院を要するものをさします。

（*2） 傷害とは治療に入院や長期通院を要さないケガ、やけど、感電などをさします。

（*3） 物的損害とは家屋、家財および家畜、ペットなどに関わる拡大損害をさします。

■図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
	“  ” は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。
	“  ” は指示行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制事項の内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。
	“  ” は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。

異常／故障のとき

 警告

発煙や異臭がおきた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。発煙がおさまったことを確認し、お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。



内部に水や異物が入った場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。



製品の落下やキャビネットの破損がおきた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。



コード部分の損傷や電源プラグの異常な発熱がおきた場合、すぐに電源を切り、プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜くこと

そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。



はじめに

安全上の注意

設置されるとき	 警告
電源プラグは先に本体に接続してからコンセント（またはシガーソケット）に接続すること 電源アダプターは付属されている本機専用のアダプターを使用すること 接続順を逆にしたり、付属品以外の物を使用した場合、火災や感電の原因となる場合があります。（※車用 DC アダプターは DC12V マイナスアース車専用です）	 指示
機器や付属品の上に物を置かないこと 金属類、液体が入ったもの（花瓶、コップ、化粧品など）、重いものなどを機器の上に置くと、機器の破損、火災、感電、ケガなどの原因となる場合があります。	 上載せ 禁止
ご使用されるとき	 警告
改造・分解・修理などおこなわないこと 火災や感電の原因となる場合があります。 点検や修理はお買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまでご依頼ください。	 分解禁止
端子部や通気口などから異物を入れないこと 金属類、紙類、ほこりなどが内部に入るとショートして火災や感電の原因となる場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。	 異物挿入 禁止
雷が鳴りだしたら、本機およびアダプター等には触れないこと 感電の原因となる場合があります。	 接触禁止
コード類（電源コード、接続コードなど）は 「傷をつける」「延長などの加工を施す」「加熱する」「引っ張る」「無理に曲げる」 「ねじる」「束ねる」「重い物を載せる」 などの行為をおこなわないこと コード内部で断線やショートして、火災や感電の原因となる場合があります。	 禁止
お手入れについて	 警告
電源プラグの刃や刃の取付け面、コンセントの差込部分にゴミやほこりが付着している場合は、プラグを抜きしっかり取り除くこと 電源プラグの絶縁低下により、ショート、火災、感電の原因となる場合があります。	 指示

はじめに

安全上の注意

設置されるとき	 注意
温度の高い場所に設置しないこと 直射日光の当たる場所や締め切った自動車内や暖房機器周辺などに置くと、火災や感電の原因となる場合があります。また機器や部品の劣化、破損する恐れがあります。	 禁止
湿気、油煙、ほこりの多い場所に設置しないこと 火災や感電の原因となる場合があります。 また機器や部品の劣化、腐食、変形、破損する恐れがあります。	 禁止
風通しが悪い（換気できない）場所に設置しないこと 内部の温度が上昇し、ショート、故障、火災の原因となる場合があります。 特に「壁に押し付ける」「押入れや本棚に設置する」 「布や紙など引火しやすい物の付近に設置する」 などの行為をおこなわないこと	 禁止
設置場所を移動する場合、電源プラグや接続コードは外すこと プラグやコードを抜かずに運ぶと、コード類が傷つき、断線や故障、火災、感電の原因となる場合があります。また転倒によりケガをする恐れがあります。	 指示
ご使用されるとき	 注意
電源プラグを抜く場合、コード部分を引っ張らないこと コードを引っ張ると、コードが傷つき、断線、ショート、火災、感電の原因となる場合があります。必ず電源プラグを持って、抜いてください。	 引っ張り 禁止
濡れた手で電源プラグやコード類、コンセントを触らないこと 感電や機器の故障の原因となる場合があります。	 接触禁止
本機を長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと 万一故障した場合、火災の原因となる場合があります。	 電源プラグ
主電源を入れる際は本体や接続機器の音量（ボリューム）にご注意ください。 最大音量の場合、大きな音が出て聴覚障害などの原因となる場合があります。	 指示
リモコンの電池を準備（交換）する場合、以下にご注意ください。 「指定外の電池を使用しない」「電池の仕様以外の方法で使用しない（推奨期限の厳守等）」 「極性（+/-）を間違えない」「使い切った電池をリモコンに放置しない」 ... など 正しく使用されない場合、液漏れ、破裂などにより、火傷やケガの原因となる場合があります。 （※ご購入初期時に同梱されている電池は試用品です）	 指示

はじめに

安全上の注意

◎取り扱いに関すること

- 引越しなどで遠方へ運ぶときは、柔らかい布などで包み、本機に傷がつかないようにご注意ください。
- 殺虫剤や揮発性の物をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などと長時間接触させないでください。本機外観の変色や塗装が傷む原因となります。
- 普段本機をご使用されないときは、ディスクを取り出し主電源のスイッチを切っておいてください。
- 本機を長時間ご使用されると機器内部基盤が多少発熱する場合がありますが故障ではありません。
- 長期に渡り未使用状態が続くと機器機能に支障がでる場合があります。

◎置き場所に関すること

- 本機は水平な場所に設置してください。グラグラする机や傾斜地など不安定な場所では使用しないでください。「倒れる」「落下する」などが起きてケガや故障の原因となる場合があります。
- 本機をテレビやラジオ、その他電子機器の周辺で使用すると、ノイズや電磁波などの干渉により映像や音声がかかるなどの症状がでる場合があります。このような場合は設置場所を他の機器と干渉しない場所に移動してご使用ください。

◎お手入れに関すること

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは柔らかい布などで軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布にひたし、よく絞ってから拭き取ってください。汚れが取れたら乾いた布で水分をしっかりと拭き取ってください。
(注) ベンジン、シンナー等は使用しないこと。本機外観の変色や塗装が傷む原因となります。
- 化学ぞうきんをご利用される場合はその注意書きにしたがってください。

◎日本国内用／一般家庭用機器です

- 本機は日本国内で使用することを前提に製造されております。また一般家庭用機器として製造されております。日本国外での使用、業務用途、異常な連続使用などは行わないでください。

◎結露（露付き）について

- 結露は機器を傷めます。結露が起きそうな場所や条件下でのご使用にはご注意ください。
(参考) “結露” はこんなときにおきます。
 - ◇寒暖の差が激しい季節（特に車内や締め切った部屋など）
 - ◇機器を寒い場所から急に暖かい場所に移動したとき
 - ◇エアコン / ストーブ / その他冷暖房などにより部屋の室温が急に変化したとき
 - ◇エアコン / ストーブ / その他冷暖房の風が直接あたる場所
 - ◇湿度の高い部屋で使用したとき
- 結露が生じて本機に水滴が付いた場合、
「電源（コンセントなど）」「アダプター」「電源プラグ」を接続し、暫く放置します。機器内部の温度が上がり、水滴がとれます。（※2～3時間 ※使用場所や環境により時間は異なります）

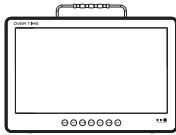
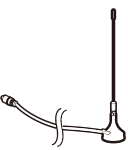
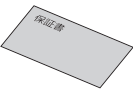
【!重要!】防水についての遵守/特記事項

- 本機(本体)はIPX7相当の防水性能を有しております(※本体 = IPX7相当 / リモコン = IPX6相当)
- 浴室・キッチン・その他の水まわり等でご利用される場合、必ず端子カバーが確実に閉まっていることをご確認の上、使用してください。
- 浴室など湿度の高い場所での長時間の利用や放置はしないこと。結露等による故障の原因となります。
- 海水(塩水)等がかかった場合、水滴をしっかりと拭き取る。端子部の腐食やサビの原因となります。
- 付属品類(電源アダプターやAVコードなど)は防水ではありません。

はじめに

付属品リスト

◎本機をご使用いただく前に、以下の内容物が全て揃っていることをご確認ください。

 ●本体	 ●リモコン (試用電池付)	 ●AC アダプター	 ●シガーソケット アダプター (12V 車専用)
 ●AV 接続コード (RCA) (Φ3.5mm)	 ●TV 受信用 簡易アンテナ (屋外用)	 ●取扱説明書 (本書)	 ●製品保証書
 ●車載用バッグ	 ●B-CAS カード		

※リモコン付属の電池はテスト用の試供品です。早めに新品と交換してください。

※シガーソケットアダプターについて ...

- お車でご使用の際は、安全な場所に停車してからご使用ください。
- お車と接続する際は、エンジンをかけてから接続してください。
- 当アダプターは DC12V バッテリー仕様の自動車専用です。
- 当アダプターはマイナスアース車専用です。
- 当アダプターの形状は一般的な車のシガーソケット形状に合せたものです。
車側のソケット部仕様によっては取付けられない場合があります。

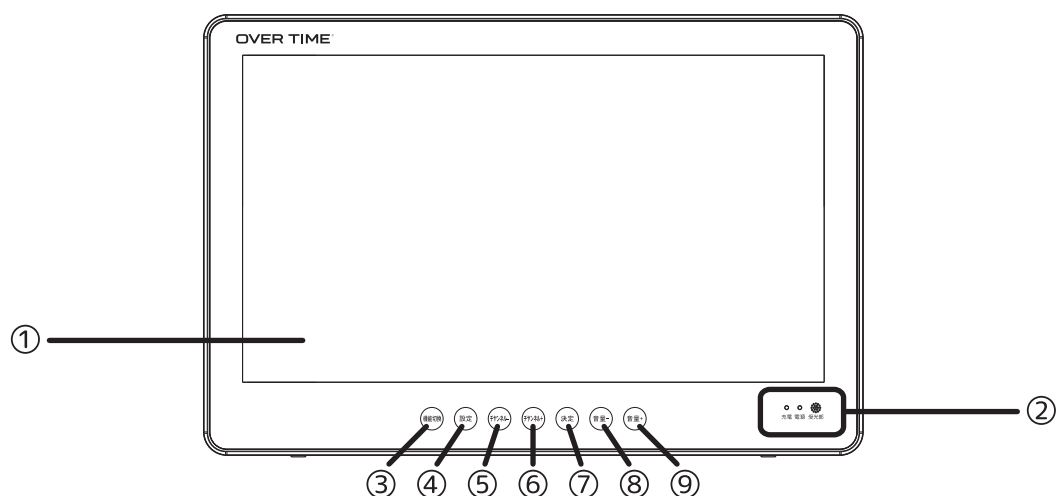
※TV 受信用簡易アンテナについて ...

- 本製品付属のアンテナは屋外用の簡易的なアンテナです。ブースター等は非搭載の為、設置場所によっては受信（視聴）できない場合があります。
特に初期設定（チャンネル登録など）を行う際はスキンの失敗や登録漏れを防ぐ為、受信感度の高いアンテナと接続して設定を行ってください。

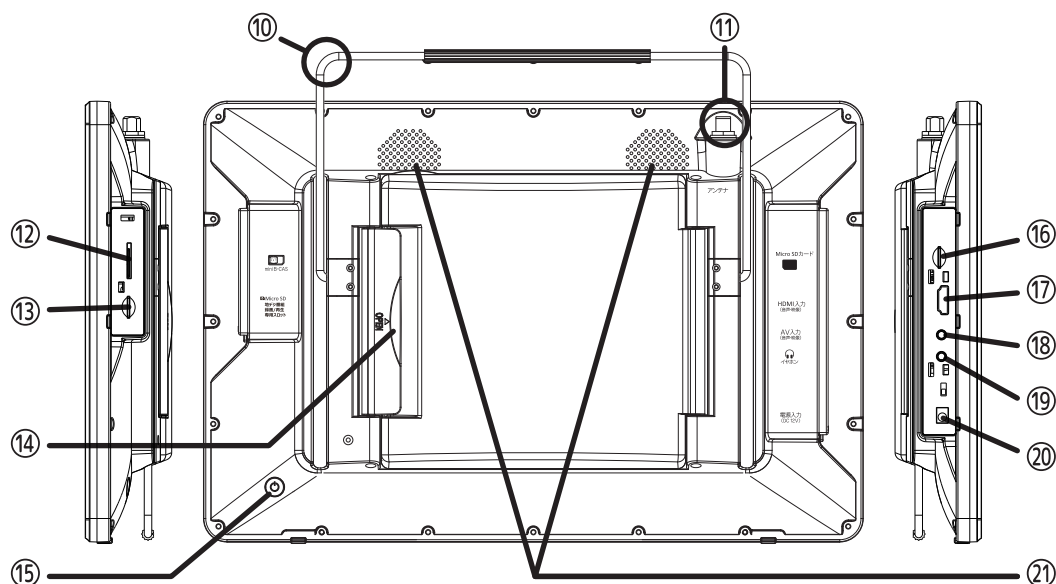
※イラストは説明用のものです。実物とは異なる場合があります。

各部名称（本体）

正面



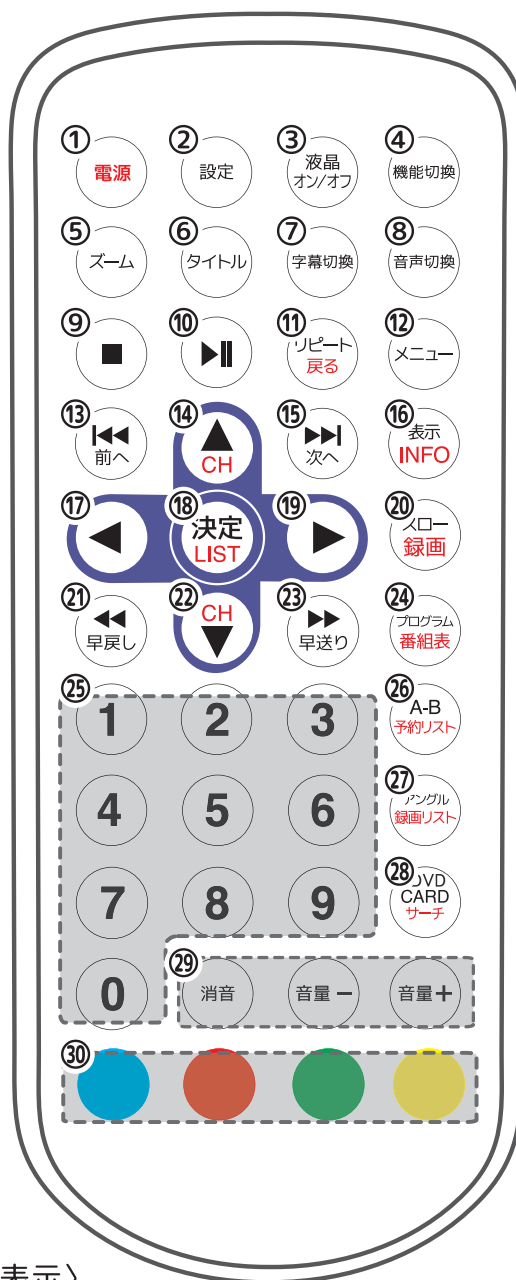
側面・背面



- | | |
|--------------|-----------------------|
| ① 液晶モニター | ② リモコン受光部&電源表示ランプ |
| ③ 機能切換ボタン | ④ 設定ボタン |
| ⑤ CH(+)ボタン | ⑥ CH(-)ボタン |
| ⑦ 音量(+)ボタン | ⑧ 決定ボタン |
| ⑨ 音量(-)ボタン | ⑩ 設定用スタンド |
| ⑪ アンテナ入力端子 | ⑫ miniB-CASカード 挿入口 |
| ⑬ ディスクカバー開/閉 | ⑭ 地デジ録画用microSDｽﾛｯﾄ |
| ⑮ 電源ボタン | ⑯ 外部データ再生用microSDｽﾛｯﾄ |
| ⑰ HDMI入力端子 | ⑱ AV入力端子 |
| ⑲ イヤホン出力端子 | ⑳ DC電源入力端子 |
| ㉑ スピーカー | |

各部名称（リモコン）

- ① 電源 〈電源オン⇔オフ〉
- ② 設定 〈設定メニュー表示〉
- ③ 液晶オン/オフ
- ④ 機能切換〈視聴モードの切換〉
(TV / DVD / AV / HDMI / TF)
- ⑤ ズーム 〈データ再生時のズーム切換〉
- ⑥ タイトル
- ⑦ 字幕切換
- ⑧ 音声切換
- ⑨ 停止
- ⑩ 再生/一時停止
- ⑪ リピート/戻る
- ⑫ メニュー
- ⑬ 前へ
- ⑭ 上/CH+ 〈カーソル移動/チャンネル切換〉
- ⑮ 次へ
- ⑯ 表示/INFO 〈情報表示〉
- ⑰ 左 〈カーソル移動〉
- ⑱ 決定/LIST
- ⑲ 右 〈カーソル移動〉
- ⑳ スロー/録画
- ㉑ 早戻し
- ㉒ 下/CH- 〈カーソル移動/チャンネル切換〉
- ㉓ 早送り
- ㉔ プログラム/番組表
- ㉕ 数字キー〈数字を入力〉
- ㉖ A-B/予約リスト 〈A-Bリピート設定/予約リスト表示〉
- ㉗ アンクル/録画リスト
- ㉘ DVD/CARD/サーチ〈チャンネルサーチ〉
- ㉙ 音量調整〈左から「消音」「音量-」「音量+」〉
- ㉚ 〈青〉〈赤〉〈緑〉〈黄〉



！ヒント！

リモコンボタンの文字の色の違いは？
「黒」は主にデータ再生時の操作内容... 「赤」は主にテレビモードの操作内容...
を、表しています。

リモコンについて

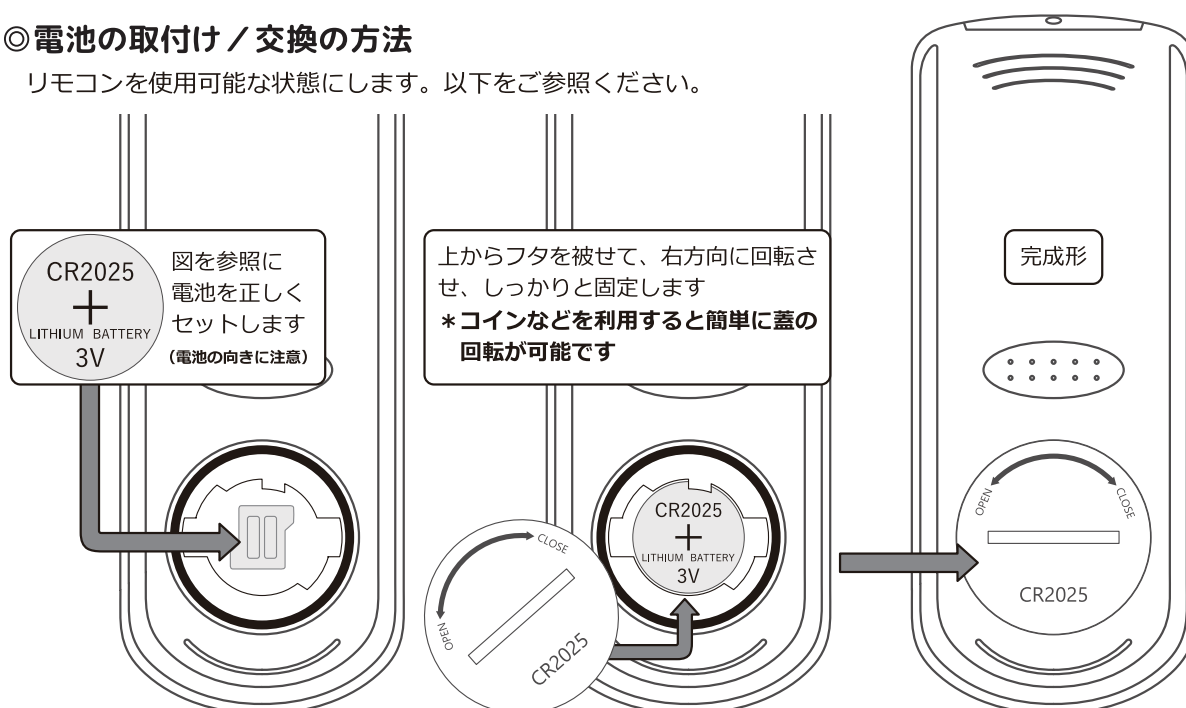
(電池交換 / 使用方法)

◎リモコン用の電池について

- リモコン用電池の規格型番は「CR2025」型ボタン電池です。
電池をご用意いただく際は型番をご確認の上お買い求めください。
- 製品お買い上げ時に初期セットされた電池はテスト用試供品です。
早々に新品の電池と交換してください。

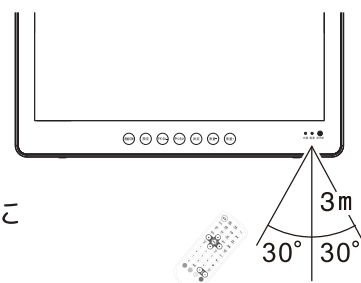
◎電池の取付け / 交換の方法

リモコンを使用可能な状態にします。以下をご参照ください。



◎リモコンの基本的な使い方

- リモコンはテレビ本体正面右側にある『リモコン受光部』に向けて操作してください
- リモコン操作は「距離3m以内」「左右30°以内」の範囲でのご利用が可能です。(右図参照)
- リモコンとテレビ側受光部の間に物などを置かないようにご注意ください。



機器の準備

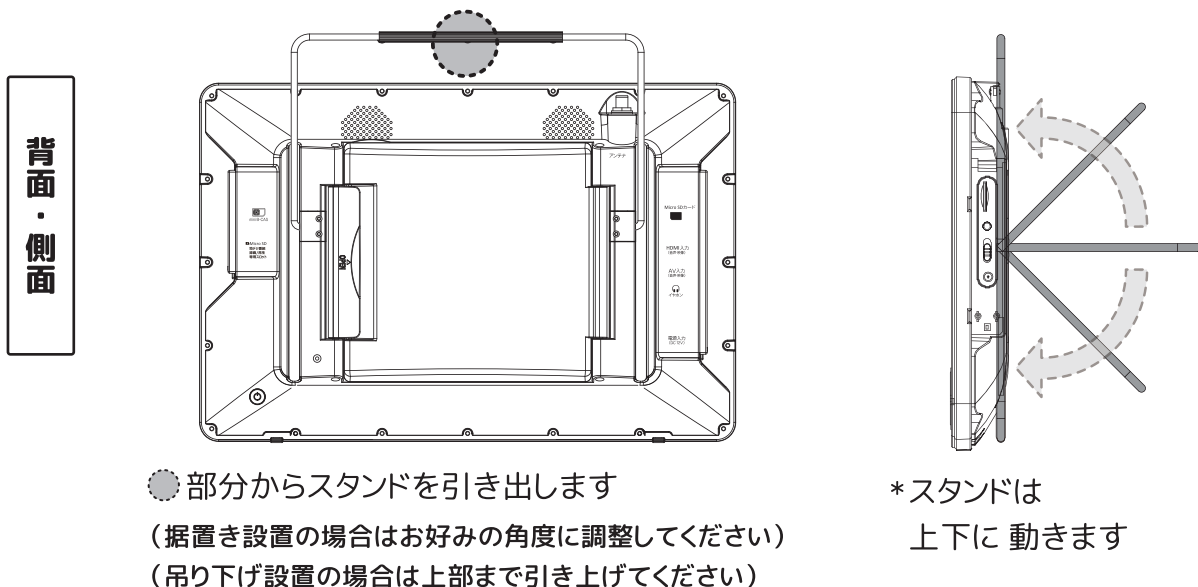
設置する

◎本機を安全にご利用いただくために下記注意事項をお守りください。



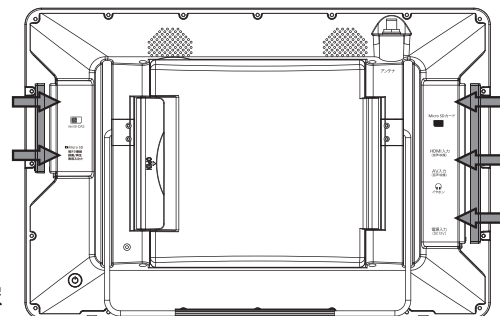
- * 本機には「Li-PO (リチウムポリマー) 充電電池」が内蔵されています。(参照:P.45)
極端に温度や湿度が高い(又は低い)場所には常設しないようご注意ください。
特に、車でご利用される場合、「車内への放置」などは大変危険ですので、絶対に行わないでください。
- * 付属の車載用バッグは「座席部ヘッドレスト部」への取付けを想定したものです。
「運転席付近への設置」や「運転者の使用/操作」は事故等の原因となる恐れがあり大変危険ですので絶対に行わないでください。

◎機器背面部のスタンドを利用して好みの場所に設置してください



重要 防水性能について

- 本機の防水性能はIPX7相当の生活防水仕様です。
- 防水性能を発揮させる為、端子部保護カバーをしっかりと閉じてご利用ください。本体内部に水が入ると感電や故障の原因となります。
- 本体内部に水が浸入して故障した場合、無償保証の対象外となりますのでお取り扱いには十分ご注意ください。

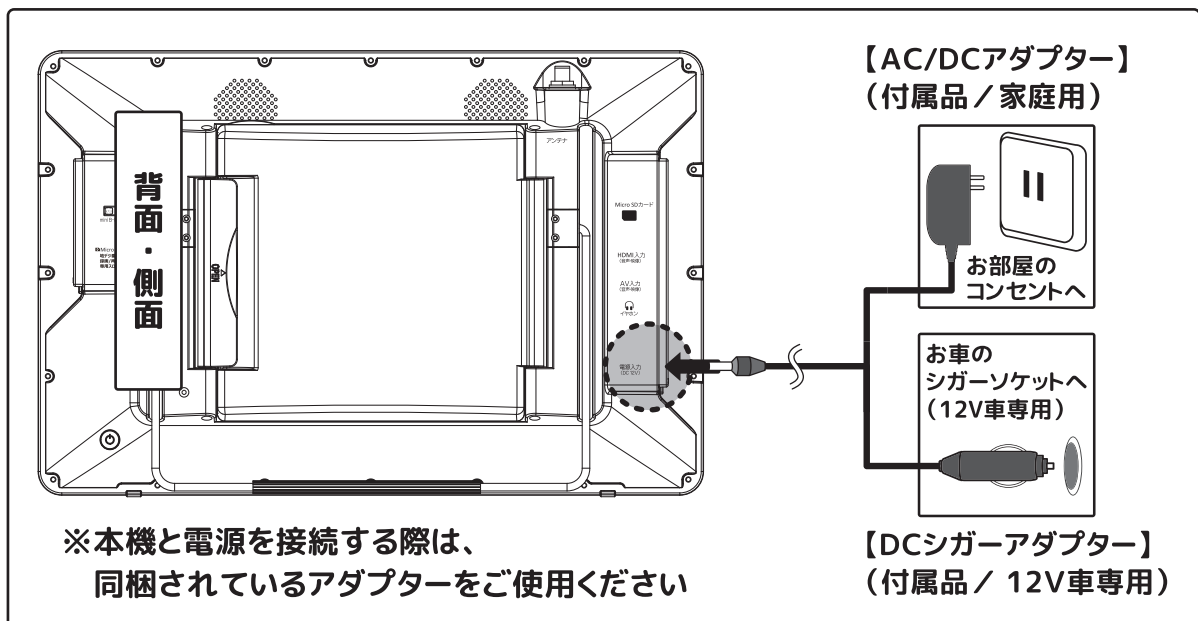


*端子保護カバーをしっかりと
奥まで押し込んで閉じてください!

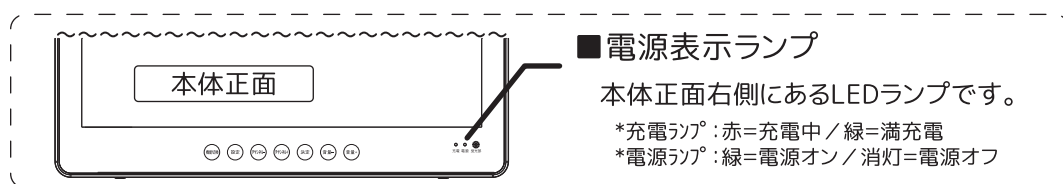
電源の接続 / 状態表示ランプ

◎ 電源の接続

- ① 本体の電源がオフであることを確認します。
- ② 本体側面端子部にある「電源入力端子」と「電源アダプター（AC 又は DC）」と「電源（コンセントやシガーソケット）」をそれぞれ接続します。



- ③ 電源を接続して本機に正しく通電されると、充電表示ランプが赤色に点灯します。
(充電中:「赤」点灯 / 満充電時:「緑」点灯)
- ④ 通電確認後、リモコンの電源ボタンを押して電源を入れます。
(電源表示ランプが緑に点灯して本体が起動します)



⚠️ ご注意 (ご確認) ください

- ※各端子やケーブルとの接続は、本体の電源がオフの状態で行ってください。
- ※AC アダプターは必ず付属品のものをご使用ください。
- ※車載用 DC シガーアダプターは「12V」車専用です。24V バッテリー車等では使用できません。
(アダプターや本体に過度の電圧がかかり故障や破損の原因となる場合があります)
- ※車載用 DC シガーアダプターはお車のエンジンをかけた状態で取付けてください。
(シガーアダプターを接続したままエンジンをかけると、スタート時に過度な電圧がかかり故障や破損の原因となる場合があります)
- ※エンジン停止中は車載用 DC シガーアダプターをお車のプラグから外してください。
(お車のバッテリーを消耗し続け、残量低下などの原因となる場合があります)
- ※電源アダプターを接続している場合、端子カバーを閉じることはできません。
水回りでご利用の際は、予め充電をしっかりとってから内蔵充電電池でご利用ください。

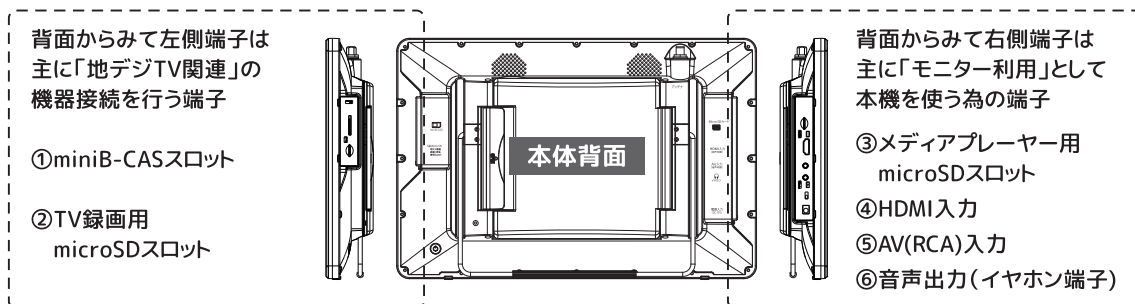
外部機器の接続 / 入力ソース切換

◎外部機器の接続

本機を外部モニターとして利用する場合:「HDMI出力対応機器」「RCA出力対応機器」

本機をメディアプレーヤーとして利用する場合:「micro SDHC」

本機で地デジテレビ番組を録画する場合:「micro SDHC / SDXC」



- ① 付属品[miniB-CASカード]を取付ける(※詳細:P.18)
- ② 地デジTV番組を録画保存するためのmicroSDカードを取り付ける(※詳細:P15)
- ③ 入力ソース【TFモード(メディアプレーヤー)】でmicroSDカードに保存されたデータを再生(視聴)する
- ④ HDMI出力機器(BDプレーヤーや一部スマホなど)との接続してモニターとして利用する
- ⑤ 付属品[AVケーブル]を利用して外部機器と接続してモニターとして利用する
- ⑥ イヤホンやヘッドホン等で音を聴く

(注)・「HDMI 接続ケーブル」「記録メディア (microSDカード)」は付属品ではありません。ご利用される場合はその仕様をご確認の上、別途ご用意ください。

(注)・付属品のリモコンは本機操作専用です。外部機器側の設定や操作はできません。

(注)・AV (RCA) 接続を行う場合、必ず付属品の AV ケーブルをご利用ください。
他の同じ形状の物でも、ピンジャック端子の仕様等が異なり正しく作動しない場合があります。

⚠️ ご注意 (ご確認) ください

※外部機器との接続を行う際は電源プラグを外してから接続してください。特に記録メディア等を接続する場合、メディアや保存データの破損 / 消失が起こる場合がありますのでご注意ください。

◎入力ソースの切り換え (モード切換)



- 電源オンの状態でリモコン (又は本体) の「機能切換」を押すと〈モード切換タグ〉が表示されます。

→「▲/▼」でカーソルをご利用されるソース名に移動させ、「決定」を押します。

(ヒント) 表示を消す場合、再度「機能切換」を押します。

機器の調整（機器設定メニュー）

〈機器設定メニュー〉から機器の調整を行う

- ◎ DVD以外のモードで、本体又はリモコンの「設定」を押すと〈機器設定メニュー〉が表示されます。

◎ 機器設定メニューの操作

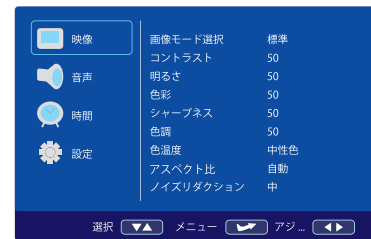
「決定」：選択の実行（又は次の選択肢へ進む）

「設定」：一つ前の選択肢へ戻る

「▲/▼/◀/▶」：カーソル移動

「終了」：メニュー画面を閉じる

〈機器設定メニュー〉



◎ 機器設定メニュー詳細

- 映像：① 画像モード選択 >> 標準 / ソフト / カスタム / ダイナミック
 ② 色温度 >> 中 / 低 / 高
 ③ 画面表示サイズ（アスペクト比） >> 自動 / 4:3 / 16:9
 ④ ノイズリダクション >> 自動 / 中 / 切 / 弱 / 強

- 音声：① 音声選択モード >> 標準 / 音楽 / 映画 / スポーツ / カスタム (*1)
 ② バランス >> -50 ~ 0 ~ 50
 ③ 自動ボリューム >> オン / オフ
 ④ サラウンド >> オフ / オン

- 時間：① 自動スタンバイ >> オフ / 10 / 20 / 30 / 60 / 90 / 120 / 180 / 240 分

- 設定：① 言語 / Language >> 日本語 / 英語
 ② 工場出荷時設定 >> 実行しますか？（→はい / いいえ）

(*1) 「コントラストや明るさ微調整」「高音や低音の調整」は選択肢を〈カスタム〉に設定します。

※ DVDモードの場合、まず「機能切換」を押してモード切換タグを呼び出し、
 タグの表示中に「設定」を押すと
 〈機器設定メニュー〉が表示されます。



外部メディアについて

本機でご利用いただけるメディア（メモリー／ディスク）

- ◎ 本機には外部メディア（microSDカード）用の挿入口が2ヶ所あり、それぞれ用途や仕様が異なります。外部メディア（microSDカード）をご利用される際は、下記参照の上、用途に合わせた仕様のものを別途ご用意ください。
- （注）外部メディア（microSDカード）は付属品ではありません。

- 地デジ放送番組の録画に関する用途としてご利用される場合...

【microSDHC】 または 【microSDXC】

※microSDXCカード容量128GBまで動作確認済 ※class 10 推奨

- メディアプレーヤーとして外部メモリー保存データを再生（視聴）される場合...

【microSDHC】

※microSDHCカード容量16GBまで動作確認済 ※class 10 推奨

⚠ ファイルシステム形式をご確認ください

※本機でご利用可能なメディアのファイルシステム形式（フォーマット）は【FAT32】又は【NTFS】です。その他の形式（exFAT など）でフォーマットされたメディアは正しく認識されません。

特に大容量のメディアをご用意いただく場合、仕様をご確認ください。

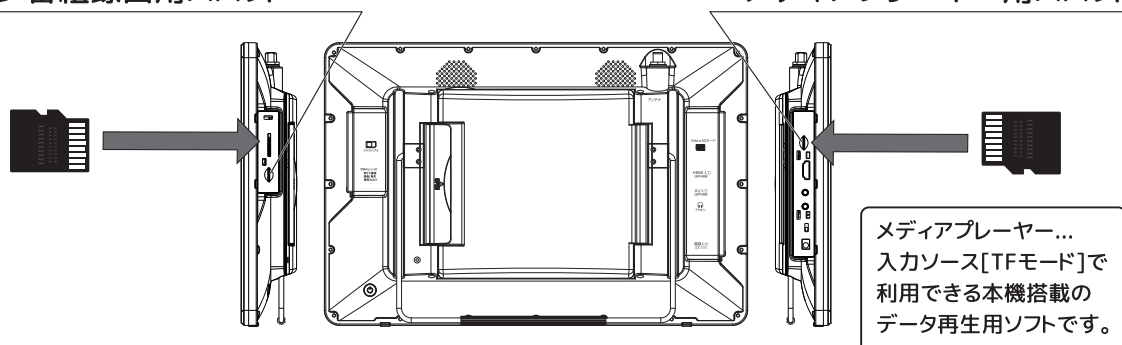
※外部メディアに関する動作保証やサポートは行っておりませんので予めご了承ください。

メディアの取り付け

- ◎ 下図参照の上、用途に合わせた外部メディア（microSDカード）を取り付けます。

地デジ番組録画用スロット

メディアプレーヤー用スロット



※カードの差し込む方向や場所を間違えないようにご注意ください

⚠ 設置するポート（端子）について

※外部メディアを、用途とは逆のスロットに取付けた場合、各モードの利用はできません。

左右のスロット形状が同じ物の為、取り違えにご注意願います。

再生可能ディスク (DVD/CD)

ディスクの取扱いと用語

◎再生可能なディスク

本機では、下記のディスクを再生することができます。

		(リージョン)	記録内容	サイズ
DVD ビデオ	DVD DVD-VIDEO DVD-R DVD-RW	 	映像（動画） ＋ 音声	12cm
音楽用 CD	 		音声	12cm

本機では、下記のディスクを再生することができます。

- DVD ビデオフォーマットのDVDソフト・DVD-R/RW
- VR モードで地デジ放送を録画し、ファイナライズ処理された CPRM 対応ディスク
- ビデオモードでアナログ放送を録画し、ファイナライズ処理された DVD-R/RW
- CD-DA フォーマットの音楽用CD・CD-R/RW
- MP3、WMA、JPEG の各形式でデータ保存された CD-R/RW

※上記ディスクであっても、録画に使用した「DVDレコーダー」「ディスク」と本機との互換性や相性により再生できない場合があります。ご了承ください。

※パソコンや DVDレコーダー以外の機器によって作成されたディスクや極端に短い時間の動画／音楽データは再生できない場合があります。ご了承ください。

※ H.264 / MPEG4AVC 形式のファイルは非対応です。

※本機は NTSC テレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式（PAL, SECAM）表示のディスクは非対応です。

※ DVD±R DL には対応しておりません。また MP3 などのデータはコーデックエラー等により再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理が施されていないディスクは再生できません。

* CPRM について ...

CPRM とは Content Protection for Recordable Media の略で、コピーを制限する著作権保護技術のことです。デジタル放送をディスクに記録（録画）して再生する為には、CPRM 対応ディスクと再生機器が必要になります。

* ファイナライズ処理について ...

ファイナライズとは、データを記録（録画）する機器（DVDレコーダー）とその他の再生機器（本機）との互換性を持たせるために必要な処理のことです。DVDレコーダーでディスクに録画しても、ファイナライズ未処理の場合、録画したレコーダー以外の機器では再生することができません。

（ヒント）ファイナライズ処理は「データを記録（録画）する側の機器」でのみ施すことが可能です。

再生可能ディスク (DVD/CD)

ディスクの取扱いと用語

◎ディスクに関する用語

一般に DVD ビデオディスクは「タイトル」という大きな区切りと「チャプター」という小さな区切りに分かれています。音楽 CD は「トラック」で区切られています。

- タイトル : DVD ビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの
- チャプター : タイトルの内容を場面や曲ごとに小さく区切ったもの
- トラック : 音楽用 CD の内容を曲ごとに区切ったもの

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」などといいます。
(ディスクによっては番号が記録されていないものもあります)

◎ディスクの取り扱いかた

- ディスクの再生面には手を触れないこと
- ディスクに紙やシールなどを貼らないこと
- ディスクの再生面が汚れると、データ読込みに支障をきたし、画像の乱れや音質低下の原因となります。
指紋やホコリなどの汚れは柔らかい布などでディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
- 汚れがひどいときは、水や薄めた中性洗剤を使い、柔らかい布で軽く拭き取った上で、乾いた布で仕上げます。



◎ディスクの保管について

- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所には保管しないこと
ディスクが変形したり記録データが破損する場合があります。
- ディスクはキズや汚れが付かないよう、専用のケースに入れて保管してください。

◎初めて本機をご使用されるときは ...

- はじめて本機でディスクを再生する場合、はじめにディスクトレイ内部にある「レンズ保護カバー」を取り出してください。
(素材: 紙)

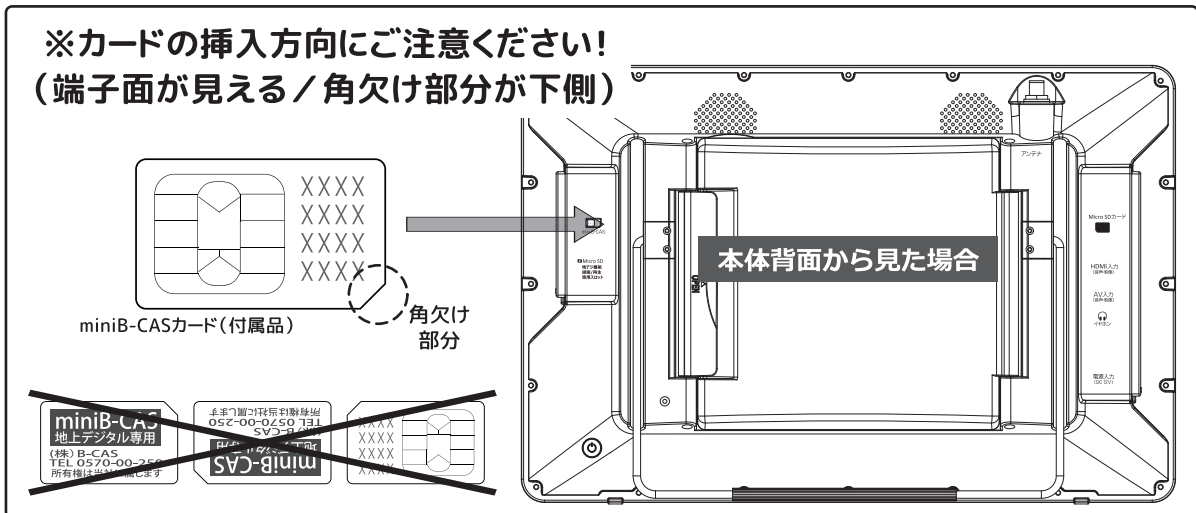


※図の保護カバー（紙製）以外のトレイ内部のもの（レンズやコード類など）は全てディスクの読取りに必要なパーツです。無理に取り出さないようご注意ください。

機能①-1 地デジテレビの視聴

B-CAS の準備

- 地デジ放送をフルセグサービスで視聴する場合、B-CAS（miniB-CAS）カードの常設が必須です。下図ご参照の上、正しく装着してください。



- ① 付属品として同梱されている「miniB-CAS カード」を台紙から取り出します。
- ② 本体背面を見て左側端子部ある miniB-CAS 挿入口を確認します。
- ③ 図を参照に「端子面が見える」「角欠け部分が下側」の方向に真っすぐに押し込みます。（奥まで入ると「カチッ」と音が鳴りカードが固定されます）
（注）誤った方向に差し込むとカードや機器が故障する場合があります。
カードの挿入方向を間違えないようにご注意ください。
- ④ カードを取り出す場合、カード中央部をツメなどで押し込みます。
（バネの力で押し戻されてカードが排出されます）
（注）カードの取付けや取り出しの際は急に手を離さないでください。
内部のバネの力でカードが飛び出して紛失する恐れがあります。



（参照）B-CAS カードの取扱いに関する詳細はカード封入用紙をご確認ください。
B-CAS カードの破損・故障・紛失などに関するお問合せ先は下記の通りです。
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステム / B-CAS カスタマーセンター
TEL : 0570-000-250

⚠️ ご注意（ご確認）ください

※地上デジタル放送サービスにはフルセグ放送サービスとワンセグ放送サービスがあります。
フルセグ放送サービスをご視聴される場合「B-CAS カード（付属品）」の取付けが必要です。

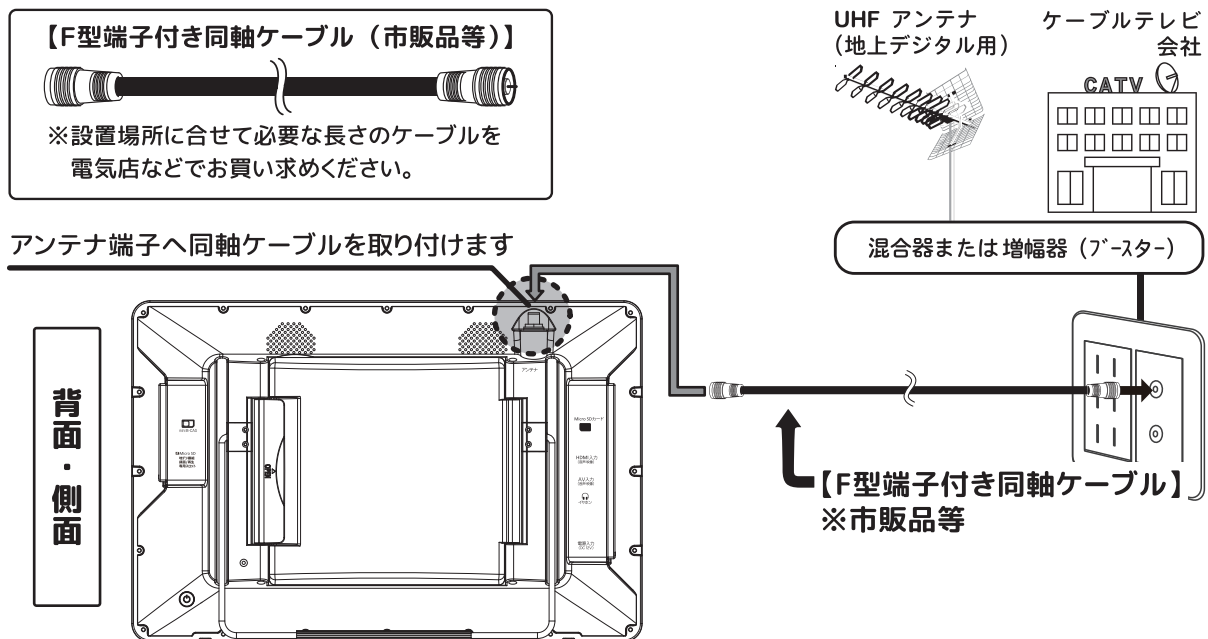
アンテナの準備

■地デジ放送受信アンテナとの接続

- 地デジ放送サービスのご視聴には受信アンテナとの接続が必須です。
各端子の形状などに注意して正しく取り付けてください。

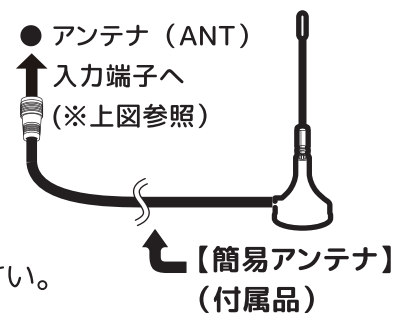
(1) 放送局の登録設定を行う場合 (P20 ～) / 屋内などでご視聴される場合

- 室内用の受信力の高いアンテナと本機を『F型端子付同軸ケーブル (下図)』を利用して接続してください。



(2) 屋外などでご視聴される場合 (簡易アンテナ (付属品) の利用)

- 付属品のアンテナは簡易的なものです。
ブースター (電波増幅装置) 等は内蔵されていない為、屋内・地下・山間部等の電波が微弱な場所ではご視聴いただけない場合があります。この場合 (1) の通り、受信力の強いアンテナと接続してください。

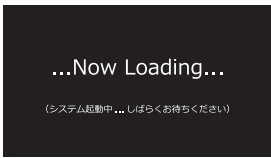


⚠ ご注意 (ご確認) ください

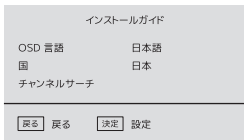
- ※本機は一般的な UHF アンテナとの接続により地デジ放送をご視聴いただけます。
CATV (ケーブルテレビ) で伝送されている場合や共聴システムで伝送されている場合、伝送方式によってはご視聴いただけない場合があります。詳しくはお住まい地域の CATV 会社や共聴システムの管理者 (マンション管理者など) にお問合せください。
- ※アンテナ線を他の電気機器等に近接しないでください。受信障害の原因となる場合があります。
- ※付属品アンテナを利用した場合、他の機器 (携帯電話やラジオなど) でTV視聴ができる場所でも、本機でご視聴ができるとは限りません。予めご了承ください。

放送局（CH）の登録

◎お買い上げ初期時やお引っ越し等により設置地域を移動した場合、その場所で視聴ができる放送局の登録が必要です。



〈システム起動中画面〉
画面表示が切り換わるまで
しばらく待ちます



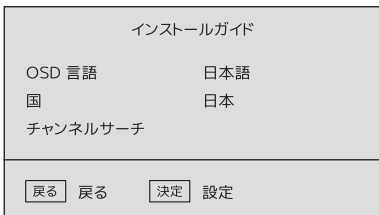
〈インストールガイド〉の場合、
「決定」ボタンを押します。
(CHサーチを開始します)



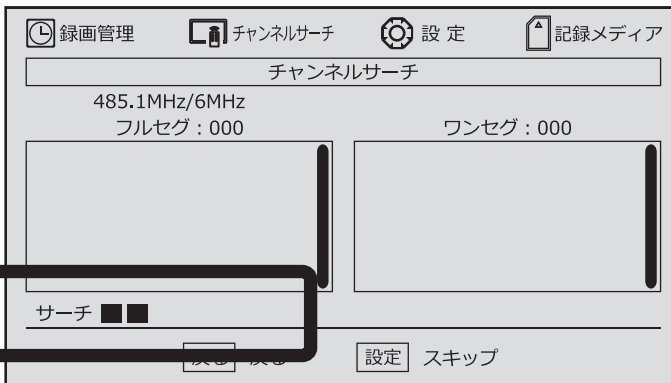
〈CHサーチ〉開始の場合、
スキャン終了までそのまま
お待ちください。

- ① 主電源をオン（入）にして画面表示（上図）を確認します。
- ② 〈インストールガイド〉が表示された場合はガイド項目を確認します。
確認後にリモコン（または本体）の「決定」ボタンを押します。
- ③ 登録可能な放送局の自動検索（チャンネルサーチ）が終わるまで暫く待ちます。
- ④ 放送局の検索／登録が終わると、登録された番組放送が始まります。

（参照）CH検索～登録設定の流れ

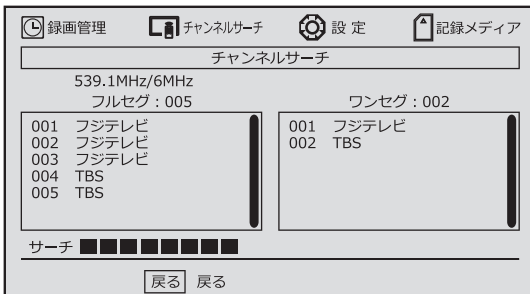


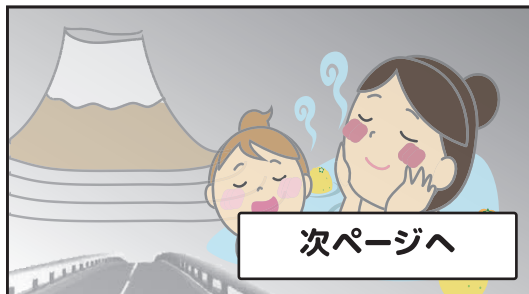
※インストールガイド表示の際は
「決定」ボタンで次へ進みます



※CH検索中は上記枠内のメモリが左から徐々に増えていきます。
検索が終了するまで暫く時間がかかりますのでお待ちください。

※アンテナが放送局を受信できた場合、
放送サービス（フルセグ／ワンセグ）ごとに振り分けて自動で登録していきます。





次ページへ